

西洋音楽の原点、キリスト教会で紡ぐ平和と祈りの教会音楽。

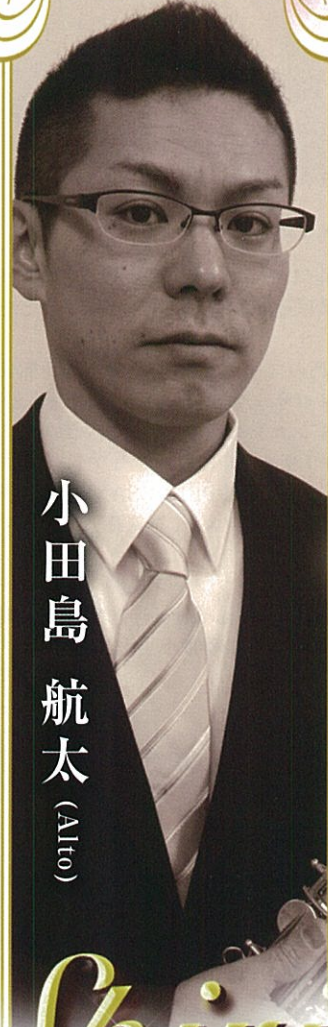
Concert Spirituel et Saxophone



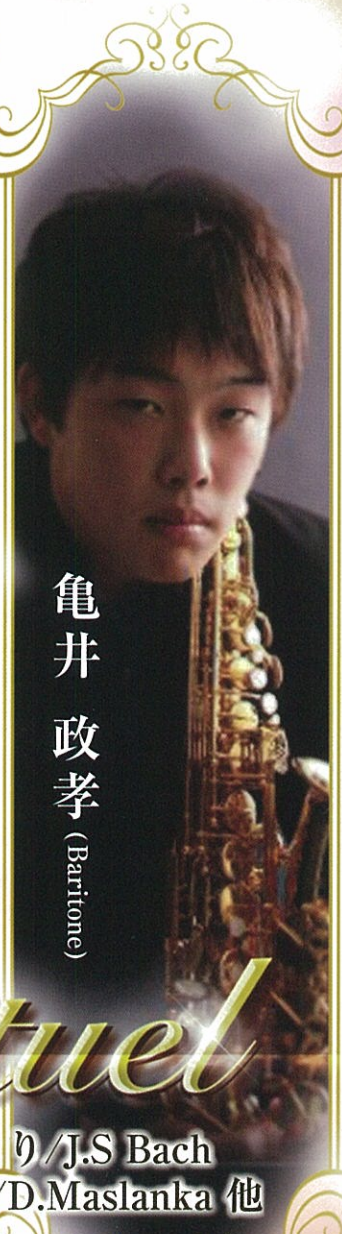
佐藤
こずえ (Tenor)



松下
洋 (Soprano)



小田島
航太 (Alto)



亀井
政孝 (Baritone)

Concert Spirituel
et
Saxophone

Partita No.4より/J.S Bach
Mountain Roads/D.Maslanka 他

3.19 sat

開場18:00 開演18:30

前売り:大人2500円 高校生以下1500円
(当日券は500円増)

仙台元寺小路教会

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-12
<http://st.cat-v.ne.jp/catholic-sendai/mototerakoji.html>

ご予約・
お問い合わせ

kamei.masa7761@gmail.com
TEL 090-6626-7761(亀井)



松下 洋 (まつした よう・Soprano)

「彼は私の名を冠する国際コンクールにおいて見事に勝利し、その人格の豊かさを世界に証明した。

生れながらのアーティストであり、私はその輝かしい未来が来ることを確信している。私は自信を持って彼を薦めます。」

—ジャン=マリー・ロンデックス

主にソリストとして活動し、超絶技巧のスタイル、コントロールを駆使し縦横無尽のレパートリーを組む。数多くの新曲発表・初演に関わる他、21世紀のトレンドを掴んだ企画、Cメロサクソ奏者としての活動、現代奏法における新技術の開発、アレンジ楽譜の出版も行い、新境地を目指し全国で活動中。ワールドサクソフォンコンGRESSへの参加や海外でのマスタークラスも行う。

横浜みなとみらいにて毎年催されるリサイタルではコンセプト、演奏共に賞賛を受けている。

2013年にはスペイン人サクソフォニストであるPEDROSAXOと日本人初のコラボレーションを企画して東京、横浜、名古屋ツアーを催した。数多くの客演ソリストを務めダリウス・ミクルスキ、堺武弥、伊藤康英、茂木大輔各氏を初めとする様々な指揮者と共に、国内外のプロオーケストラ・吹奏楽団と多数共演している。

朝日音楽賞を受賞した旭井翔一氏によるサクソフォン協奏曲「バガニーニ・リミックス」を山口俊一氏指揮により初演。2015年5月にはフランソワ・ロゼ氏の初となるサクソフォン協奏曲「Wend'Kreis」をフランスの都市ストラスブールにてストラスブール交響楽団と初演。

1987年ソウル生まれ、横浜出身。激辛党、将来の夢は小説家。

ブログ【SAX&STYLE&SENSE】

<http://blog.goo.ne.jp/youcrossgun>

佐藤 こずえ (さとうこずえ・Tenor)

宮城県大崎市出身。愛知県立芸術大学卒業。在学中、同大学定期演奏会、卒業演奏会に出演。桑原賞受賞。

その後、東京ミュージック&メディアアーツ尚美ディプロマ科修了。

在学中、第10回ディプロマフレッシュコンサートに出演。

第5回サクソフォン協会主催新人演奏会に出演。

第15回浜松国際管楽器アカデミーにて、オーティス・マーフィー氏のマスタークラスを受講。講師推薦プレミアムコンサートに出演。

第15回KOBE国際コンクールにて奨励賞を受賞。第10回日本アンサンブルコンクール入選。

これまでにサクソフォーンを、古溝徹、富岡和男、雲井雅人、林田和之、藤陵雅裕、名雪祥代の各氏に師事。

2012年2月護国寺同仁教会(東京)にて、ソロコンサートを開催。

第18回新進演奏家プロジェクト オーケストラ・シリーズにて仙台フィルハーモニー管弦楽団とコンチェルトを共演。

現在、ヤマハ大人の音楽教室講師を務める傍ら、演奏活動や部活指導等、後進の指導にもあたっている。

サクソフォーンを渡辺邦夫、大和田雅洋、有村純親、大森明の各氏に師事。室内楽を池上政人、服部吉之の各氏に師事。音楽理論を深井克則に師事。

小田島 航太 (おだしまこうた・Alto)

仙台市在住。宮城県泉館山高等学校卒業。2005年国立音楽大学演奏学科に入学。在学中に同大学オーディションに合格し、第78回ソロ室内楽定期演奏会に主宰していたサクソフォーン四重奏で出演。第7回大阪国際音楽コンクール室内楽部門入賞。2009年同大学卒業後、英国Trinity Laban Conservatoireへ留学。在学中、ソリストとして同校有志オーケストラと共演。2010年Tunbridge Wells IYCA Competition管楽器部門3位受賞。2011年帰国。2012年より陸上自衛隊第9音楽隊に所属し、年間80回以上の演奏任務に携わる。2015年退職し、現在はフリーランスとして活動中。サクソフォーンを古溝徹、雲井雅人、Gerard McChrystalの各氏に師事。

亀井 政孝 (かめいまさたか・Baritone)

宮城県仙台市出身。洗足学園音楽大学卒業。大学在学中、同大学より特別選抜演奏者に認定。2006年には渡仏し、GAP/European summer Universityに参加。

パリ国立高等音楽院教授クロード・ドゥラング氏、アムステルダム音楽院教授アルノ・ボンカンブ氏等、計7名の世界的音楽家の元で研鑽を積む。またマスタークラスにてアレクサンドル・ドワジー氏のレッスンを受講。

在学中より、「Jアートホール主催「期待の音大生アフタヌーンコンサート」「音大生によるサクソフォーン四重奏の夕べ」「室内楽オーディション合格者による披露演奏会」など、数多くの演奏会に出演。

現在、自身のグループやソロでの演奏活動の他、室内楽、吹奏楽、JAZZやCMレコーディングなど、幅広く活動中。室内楽研究団体「亀井塾」主宰。ヤマハ音楽教室講師。

サクソフォーンを渡辺邦夫、大和田雅洋、有村純親、大森明の各氏に師事。室内楽を池上政人、服部吉之の各氏に師事。音楽理論を深井克則に師事。